

中国の報恩法要は延期

平成二十七年に高野山ご開創一二〇〇年記念大法会を迎えるにあたり、中国、青龍寺並びに赤岸鎮（空海紀年堂）を参拝し報恩法要を行い、合わせて、高野山ご開創の元となった「三鈷杵」を投擲された明州（寧波）の浜で、投擲之地報恩法要を本山、高野山真言宗で計画し、

参拝団総勢約百人、九月二十六日より三十日まで五日間 中国へ出張する予定でしたが、中国国内の信じがたい反日デモの為中国訪問を延期することになりました。

予定法要は、

九月二十七日 西安市・青龍寺「空海が恵果阿闍梨から密教を伝授された」にて法要。

二十八日 福州市・霞浦「空海紀年堂・祭海亭」にて法要。

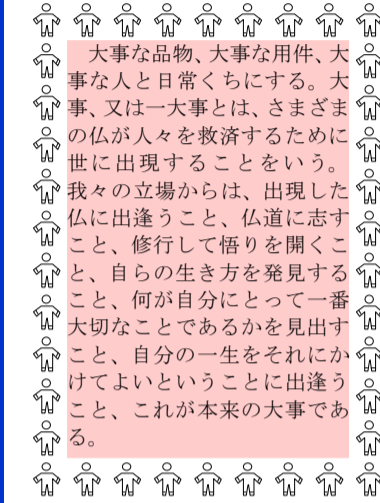
二十九日 寧波市・明州の浜にて法要、でした。

再度計画されると思いますが改めて報告の機会があると信じます。

仏教が生んだ日本語

だいじ大事

大事な品物、大事な用件、大事な人と日常くちにする。大事、又は一大事とは、さまざまの仏が人々を救済するために世に出現することをいう。我々の立場からは、出現した仏に出逢うこと、仏道に志すこと、修行して悟りを開くこと、自らの生き方を発見すること、何が自分にとって一番大切なことであるかを見出すこと、自分の一生をそれにかけてよいということに出逢うこと、これが本来の大事である。



.....弘法大師の入唐・帰国の足跡



2004年11月8日撮影

寿楽院の庭でシンボルだった赤松が枯れてしまい、今はもう見る事が出来なくなってしまいました。

空海の言葉 シリーズ

真言は不思議なり、
観誦すれば無明を除く。

- 真言は不思議な力を有し、
- 一心に観じて唱えれば苦悩の闇を除く

これは空海が「般若心経」を詳細に解説した「般若心経秘鍵」の一節です。
ここでいう真言とは、心経の最後の「ギャーテーギャーテーハーラーギャーテーハラソウギャーテーボージョソワカ」という一節をさしています。
ひたすらこれを唱えれば心の闇が除かれ、悟りの扉がひらくという心経の核心部分となる呪文です。
古来より神秘の力が宿る秘密のことは、聖なる語句として、その意味を説くことは禁じられていたそうです。
空海は一句ごとに説明を試みたくえで、「真言は一字に数限りない真理を含む」とし、「真の意味はどんなに長い時間をかけても説明し尽くすことは困難」と言っています。
真言は口で唱え、声の響きとなることで神秘の力を発揮します。

